

岩櫃山周辺 コースマップ



岩櫃山周遊真田道コース -----

平沢登山口 → 本丸址 → 山頂 → 古谷T字路 → 潜龍院跡 → 密岩神社 → 古谷登山口 → 真田道 → 平沢登山口

岩櫃山周遊登山コース -----

平沢登山口 → 沢通り → 山頂 → 密岩通り → 密岩神社 → 古谷登山口 → 古谷T字路 → 潜龍院跡 → 赤岩登山口 → 赤岩通りまたは十二様通り → 尾根通り → 本丸址 → 平沢登山口


※上記2つの周遊コースは古谷登山口からもスタート可能です。

本丸址コース -----

平沢登山口 → 本丸址 → 平沢登山口

潜龍院跡・密岩神社コース -----

古谷登山口 → 潜龍院跡 → 密岩神社 → 古谷登山口



この地図は、国土地理院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)、数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)及び数値地図(国土基本情報)基礎地図情報(数値標高モデル)を使用し、測量法第30条に基づく成果使用承認「平27情使、第456号」の一部を転載したものである。

地図調製 (株)中央ジオマテックス

いわ びつ じょう 岩櫃城跡 (町史跡)

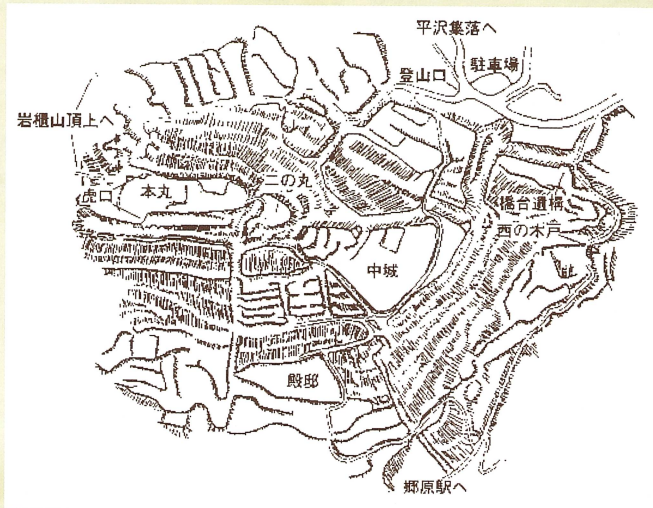
岩櫃城は、築城時期や築城者は不明ながら、中世に築かれたとされる山城で、文献に初めて登場する城主は、南北朝時代(1336~1392)の吾妻太郎行盛です。

戦国時代の永禄6年(1563)、斉藤越前守憲広(基国)の本城であった岩櫃城は、武田信玄の家臣・真田幸隆によって落城されました。以後、東吾妻は武田氏、そして真田氏の支配地となり、岩櫃城は、上田城と沼田城を結ぶ真田道の中間地点として、重要な位置を占めてきました。

徳川幕府の開設後も、岩櫃城は真田氏の城として使われましたが、慶長20年(1615)に徳川家康が発令した「一国一城令」によって岩櫃城は破却され、その役割を終えました。

要害地区略図

岩櫃城は、岩櫃山の中腹東面に築かれており、城域の東端は番匠坂、西端は本丸から400mほどの場所とされています。本丸や中城などを擁する要害地区は、南面の切沢の谷と山裾の斜面を自然の城壁としています。



岩櫃城本丸址

25m×15mの建物の土台と思われる形跡があり、ここに岩櫃城の展望台と指揮台を兼ねた中枢部があったと考えられています。



上州吾妻郡岩櫃古城之図※長野県立歴史館蔵

潜龍院跡

潜龍院は天正10年(1582)3月、真田昌幸が敗走する武田勝頼を迎え、武田の再興を図るために急造した御殿です。しかし、勝頼は当地に来ることなく、天目山で自刃してしまいました。



平沢登山口では、4月1日(金)より毎日(9:00~16:00)観光案内所がオープンします。また現在、潜龍院跡近くの密岩神社では、毎週土日・祝日(10:00~15:00)に「岩櫃城おもてなしの乱」と称し、町内の有志が訪れた皆様をおもてなししております。(観光案内所、おもてなしの乱いずれも平成28年11月末までの予定)



平成28年
NHK大河ドラマ
「真田丸」放送

真田丸・岩櫃関連情報

<http://www.iwabitsu-sanadamaru.com/>

岩櫃なび

<http://www.tohgoku.or.jp/~aysk/iwabitsunabi/>

NHK大河ドラマ「真田丸」
岩櫃 IWABITSU
真田氏上州の拠点 岩櫃城下東吾妻



東吾妻町観光協会

〒377-0801 群馬県吾妻郡東吾妻町大字原町626-2
TEL/FAX : 0279-70-2110

平成28年3月発行